（イラスト:TH-L55ET5）

説明イラストは、TH-L55ET5を元に作成しています。

Panasonic

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

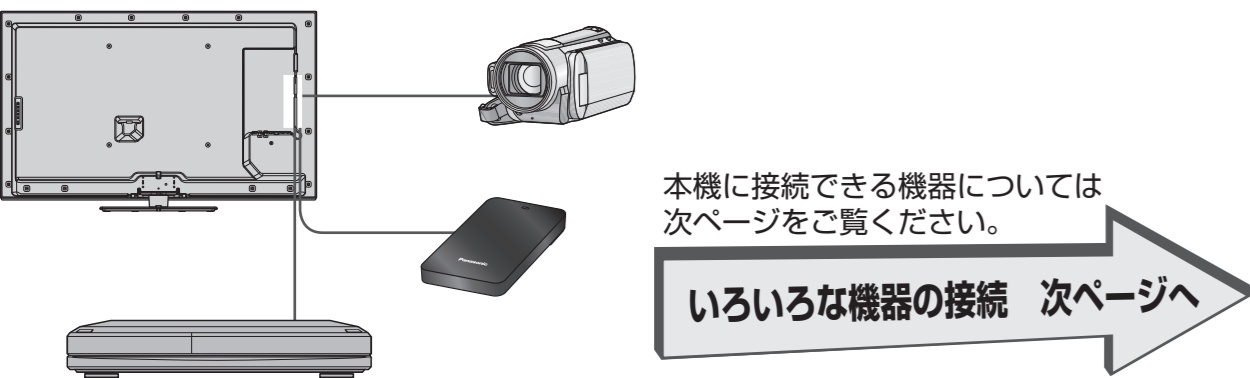
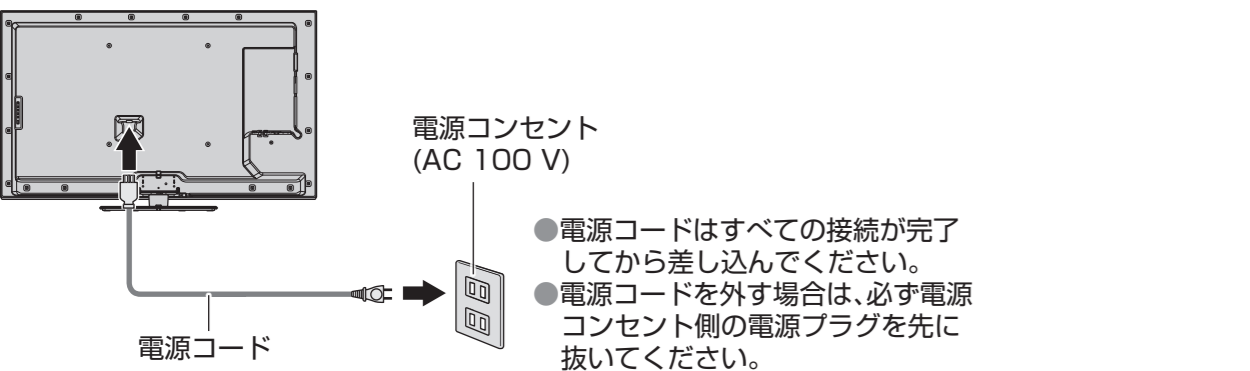
品番 TH-L55ET5（55V型）
TH-L47ET5（47V型）
TH-L42ET5（42V型）
TH-L37ET5（37V型）
TH-L32ET5（32V型）

接続ガイド

●接続する機器側の取扱説明書もあわせてご覧ください。
●よく使う操作は「かんたん操作ガイド」、使いかたや設定などの詳細は「基本ガイド」と「ビエラ操作ガイド」をご覧ください。
●接続に使うケーブル類、コードなどは事前にご用意ください。
別売のケーブルやコードについては、裏面の「ケーブル・コード一覧(別売品)」をご覧ください。
●ケーブル先端部および機器の形によっては、接続できないことがあります。

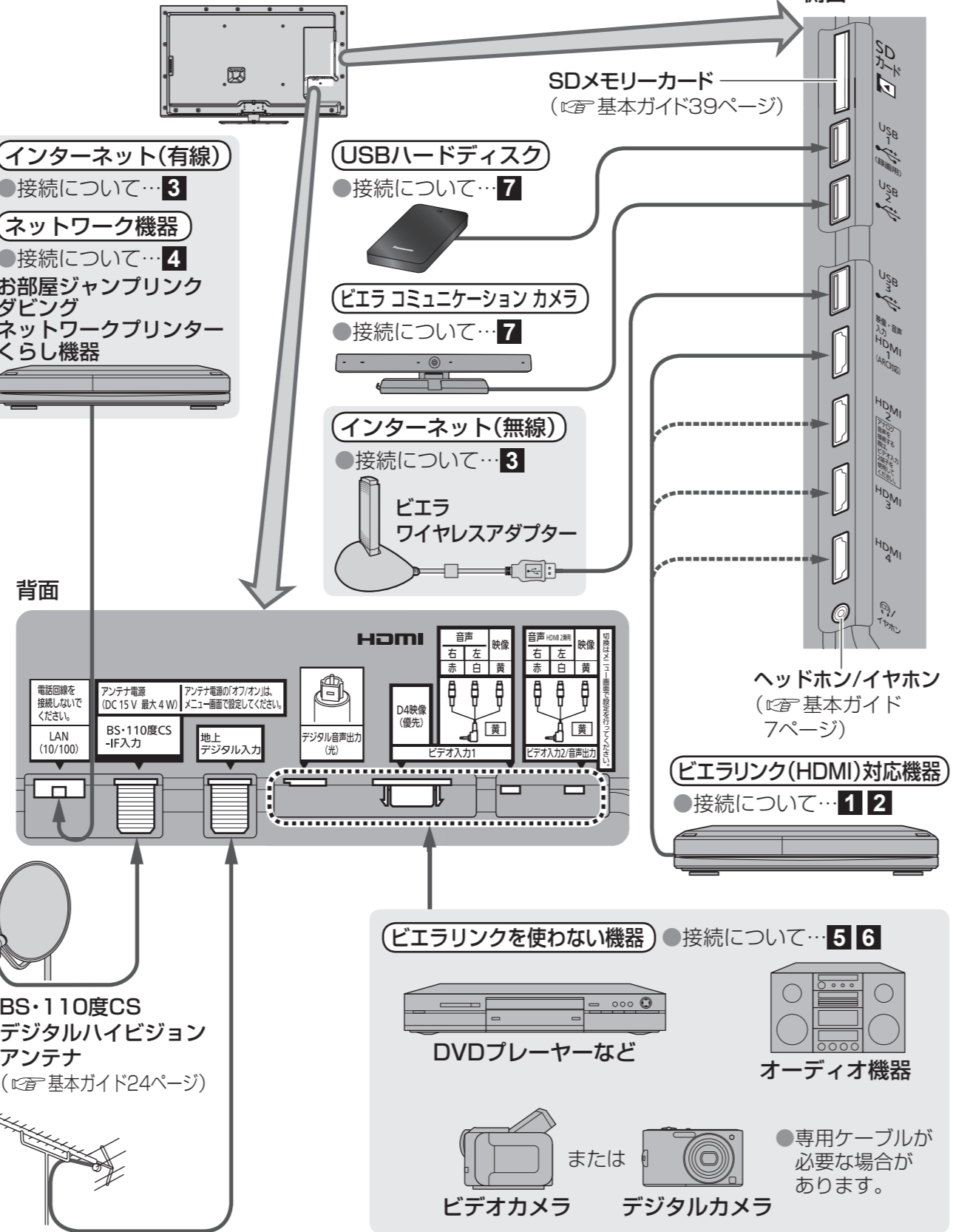
接続ガイドの見かた

●（☞基本ガイド○○ページ）…詳しい解説は、基本ガイドをご覧ください。
●（?ガイド○○○）…詳しい解説は、ビエラ操作ガイドをご覧ください。
（例）（?ガイド501）…リモコンで? 5 10 1と押す。
● ➡ 信号の流れを示します。

本機に接続できる機器については次ページをご覧ください。
いろいろな機器の接続　次ページへ

電源コードについて

●電源コードはすべての接続が完了してから差し込んでください。
●電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

いろいろな機器の接続

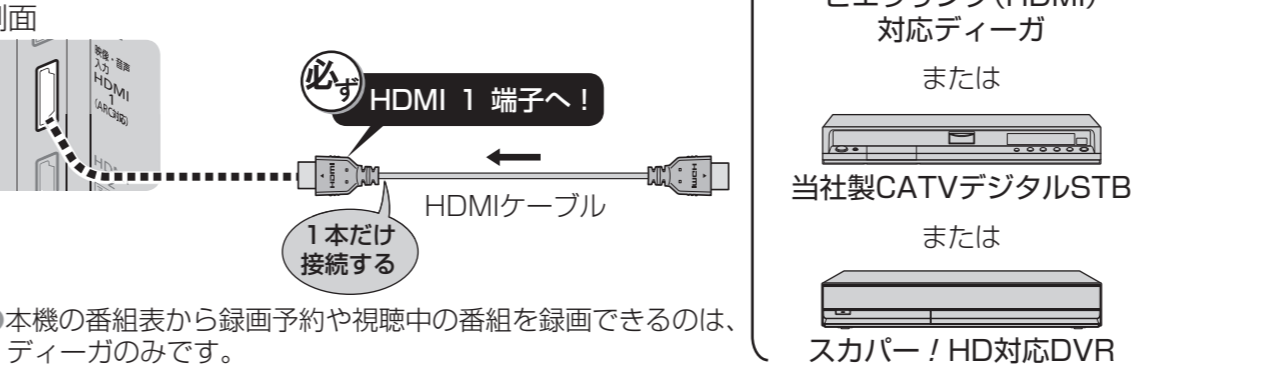
必要な機器を接続してください。

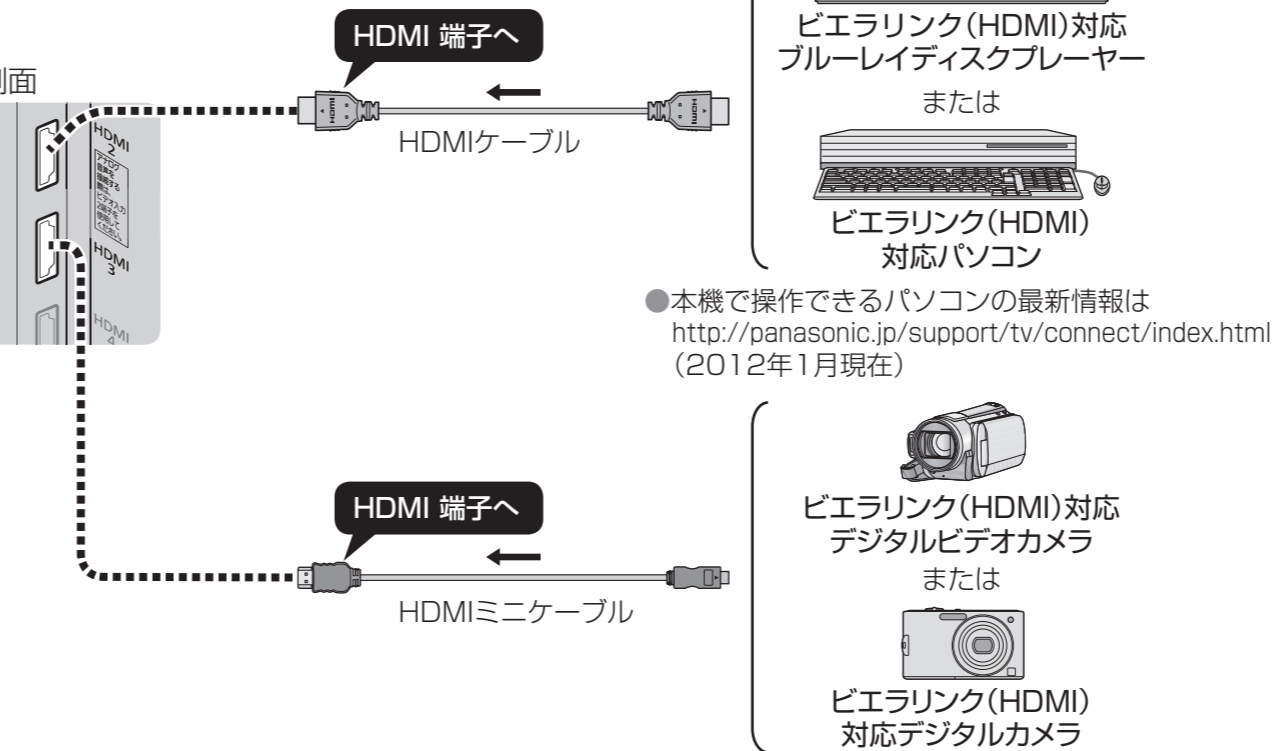
再生機器によってはHDMI端子を使える場合があります。

ビエラリンク(HDMI)対応機器を接続

1 ディーガなどの接続

●ビエラリンク(HDMI)を使う（☞基本ガイド32ページ）
●HDMI端子について（☞基本ガイド49ページ）
●ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器は、HDMI 1端子に接続してください。
●ビエラリンク(HDMI)で操作できるのは、各機器につき1台です。
同じ種類の機器を接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。

■ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器を接続する

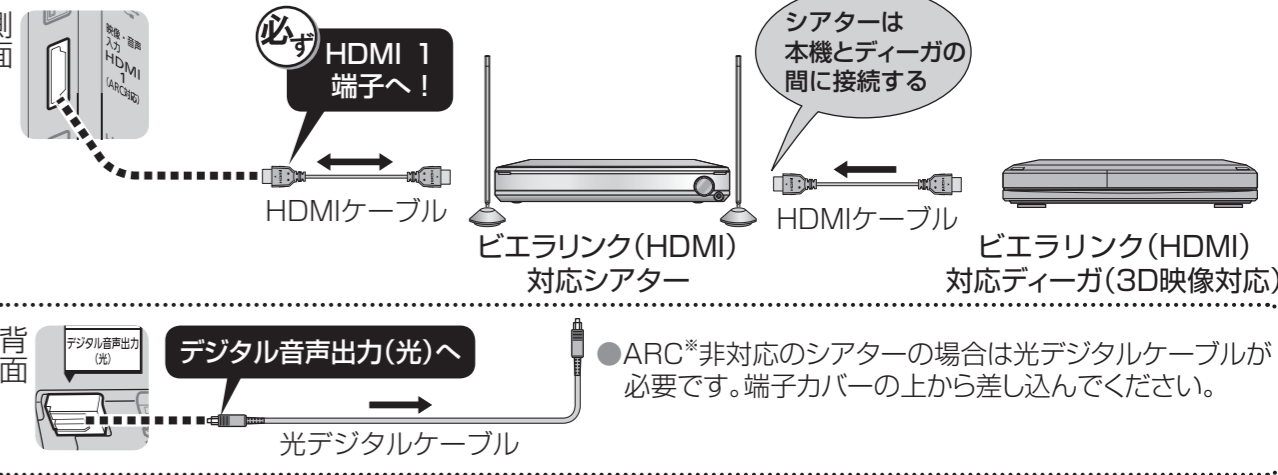
●本機の番組表から録画予約や視聴中の番組を録画できるのは、ディーガのみです。

■ビエラリンク(HDMI)で再生のみできる機器を接続する

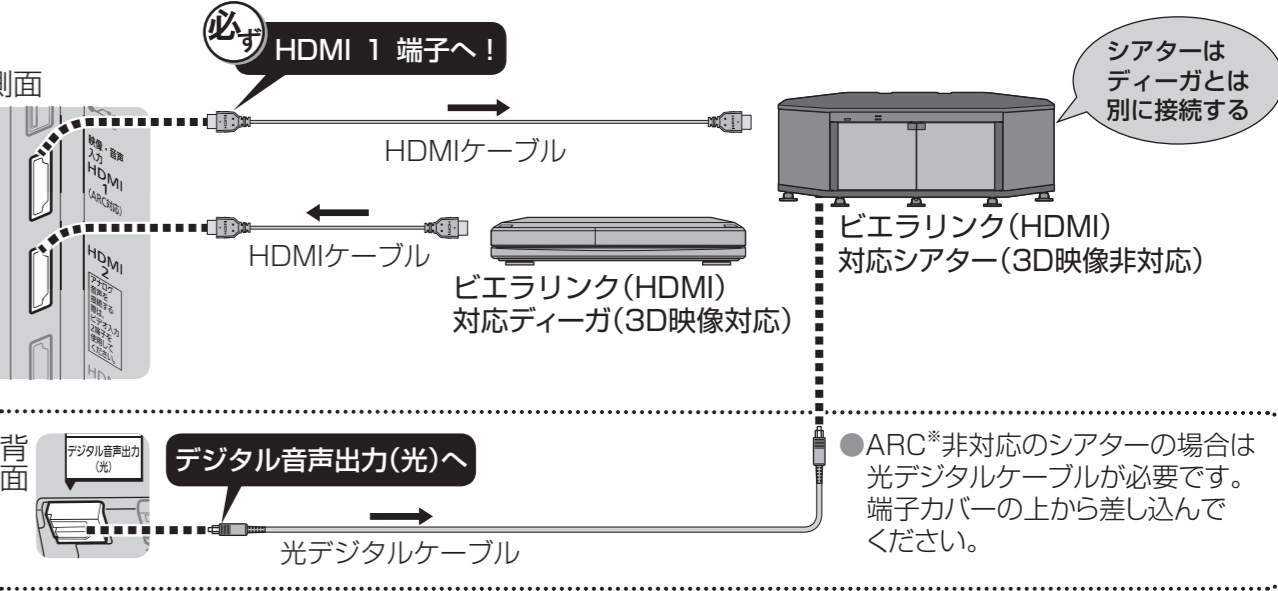
●本機で操作できるパソコンの最新情報は
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
（2012年1月現在）

お知らせ
●HDMIケーブルは当社製を推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

2 シアターとの接続

●シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
●本機で操作できるシアターとディーガは各1台です。
●3D映像を視聴するときは、HDMIロゴのある「High Speed HDMIケーブル」をお使いください。

■3D映像対応のシアターを接続する

●ARC※非対応のシアターの場合は光デジタルケーブルが必要です。端子カバーの上から差し込んでください。

■3D映像非対応のシアターを接続して3D映像を楽しむ

●ARC※非対応のシアターの場合は光デジタルケーブルが必要です。端子カバーの上から差し込んでください。

※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。

●「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定。必須
（?ガイド822）
●機器を操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたい場合は、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「電源オン連動」を「する」に設定。（?ガイド822）

インターネット、ネットワーク機器の接続

●接続後は「かんたんネットワーク設定」を行ってください。(☞基本ガイド54ページ)

3 インターネットへの接続

●インターネットへの接続は、プロバイダーや回線業者との契約内容に基づいて接続してください。(回線の種類は下欄参照)

インターネットへ

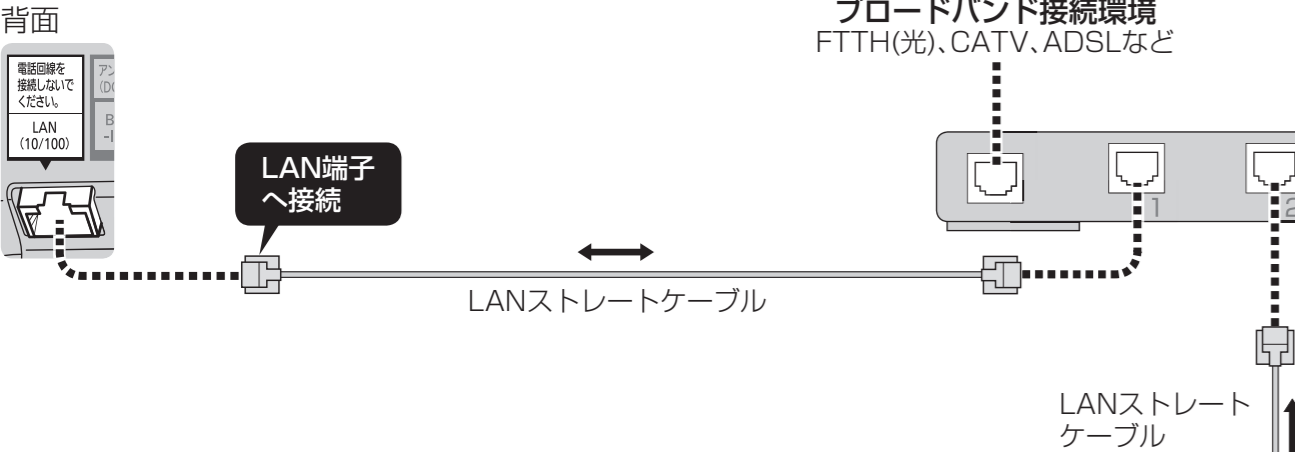
ブロードバンド接続環境
FTTH(光)、CATV、ADSLなど

LANストレートケーブル(有線LAN)での接続

背面

電話回線を接続しないでください。
LAN (10/100)

LAN端子へ接続

LANストレートケーブル

LANストレートケーブル

無線LANでの接続

●ビエラ ワイヤレスアダプターの動作確認情報については、下記のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
(2012年1月現在)

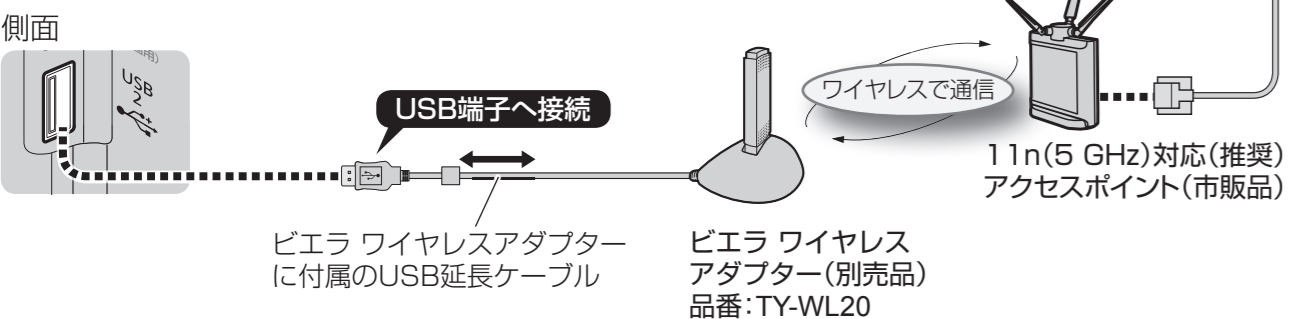
側面

USB端子へ接続

ワイヤレスで通信

11n(5 GHz)対応(推奨)
アクセスポイント(市販品)

ビエラ ワイヤレスアダプターに付属のUSB延長ケーブル

ビエラ ワイヤレスアダプター(別売品)
品番:TY-WL20

(お知らせ)

●インターネットへ接続する際は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
●LANストレートケーブルと無線LANの両方を接続することができますが、どちらで通信するかは、「接続方法」(?ガイド764)または「かんたんネットワーク設定」(☞基本ガイド54ページ)で設定してください。

回線の種類と接続の例

FTTH(光)
ケーブルテレビ
FTTH(光)回線終端装置/ケーブルモデム
LANストレートケーブル
ハブへ

ADSL
背面
電話コンセント
モジュラーケーブル(市販品)
電話機
ハブへ
モジュラーケーブル(市販品)
スプリッター
モジュラーケーブル(市販品)
ADSLモデム

4 ネットワーク機器の接続

●本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。
●接続については、ネットワーク機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハブ
FTTH(光)回線終端装置・ケーブルモデム・ADSLモデムにルーター機能がないときは、ブロードバンドルーターをご使用ください。

お部屋ジャンプリンク対応機器/USBハードディスクからのダビング

お部屋ジャンプリンク(☞基本ガイド62ページ)
ダビング(☞基本ガイド46ページ)

LANストレートケーブル
対応しているディーガ

ネットワークプリンター

(☞基本ガイド62ページ)

LANストレートケーブル
対応しているプリンター

LANストレートケーブル

くらし機器(当社製)

(☞基本ガイド62ページ)

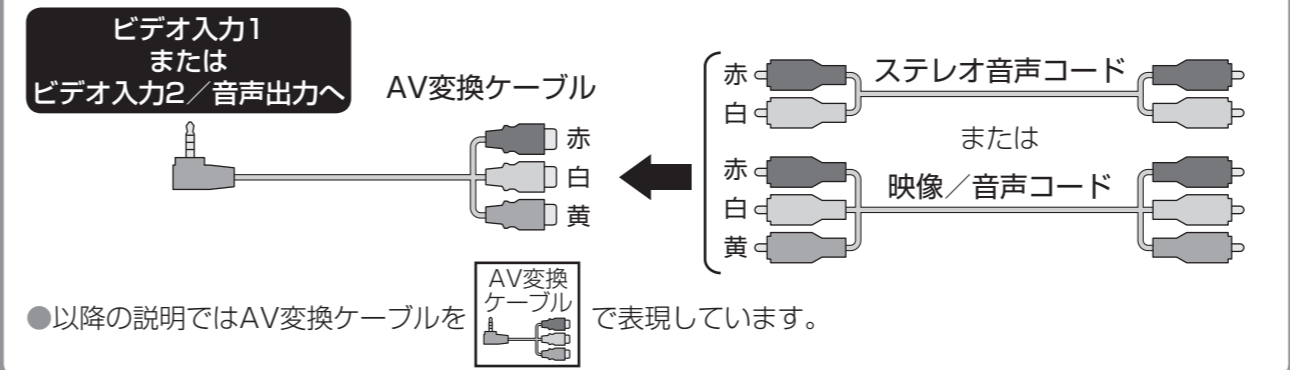
ハブへ ハブへ ハブへ
テレビドアホン
マスターアダプター
コンセント
電力線
PLCアダプター対応テレビドアホン
センサーカメラ/ネットワークカメラ
電源ケーブル
コンセント
ドアホン用 PLCアダプター
ハブへ
ネットアダプタ(玄関番用)
玄関番(テレビドアホン)

背面
マルチメディアコンセント
くらし安心ホームパネル または 宅内コントロールアダプタ
ライフィニティ システム
ネットアダプタ
玄関番
インターネットへ
ブロードバンドルーター
FTTH(光)回線終端装置・ケーブルモデム・ADSLモデムにルーター機能があるときは、ブロードバンドルーターに接続しないで、くらし安心ホームパネルに直接接続

ビエラリンクを使わない機器の接続

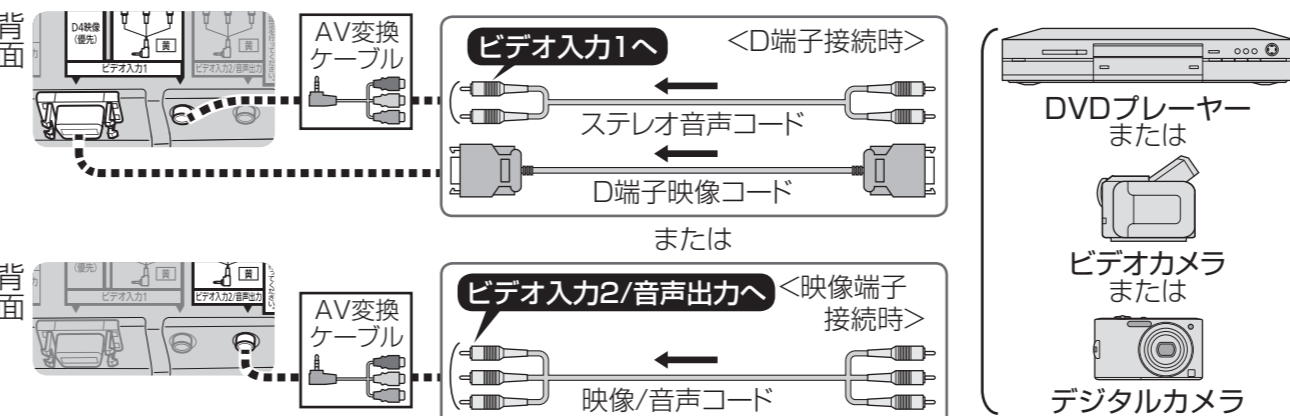
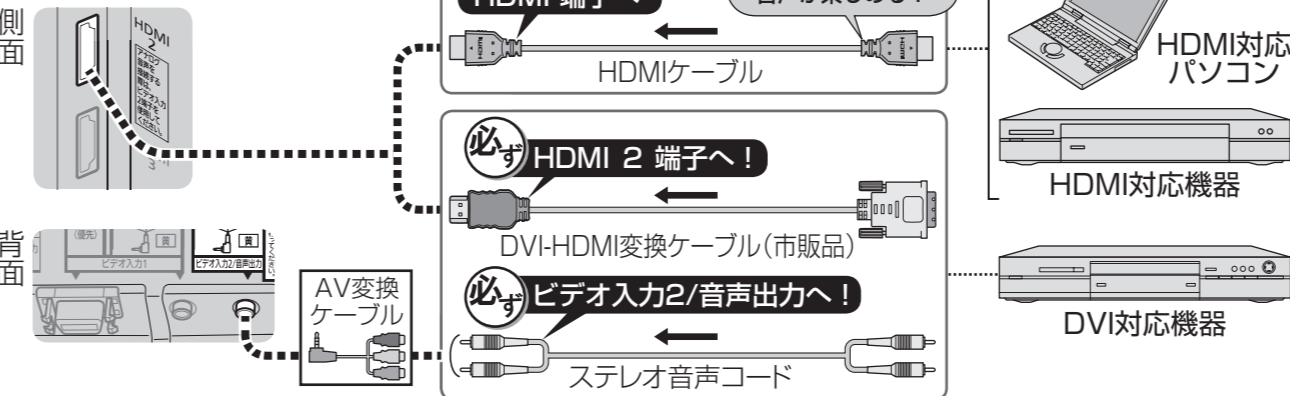
AV変換ケーブル(付属品)について

ビデオ入力端子への接続は、付属のAV変換ケーブルをご使用ください。
●AV変換ケーブルをビデオ入力端子へ接続する際は、抜けないように奥までしっかりと接続してください。

●以降の説明ではAV変換ケーブルを [AV変換ケーブル] で表現しています。

5 再生機器(DVDプレーヤーなど)の接続

●ビデオ入力端子について(☞基本ガイド49ページ)
●HDMI端子について(☞基本ガイド49ページ)

■D端子またはビデオ端子に接続する

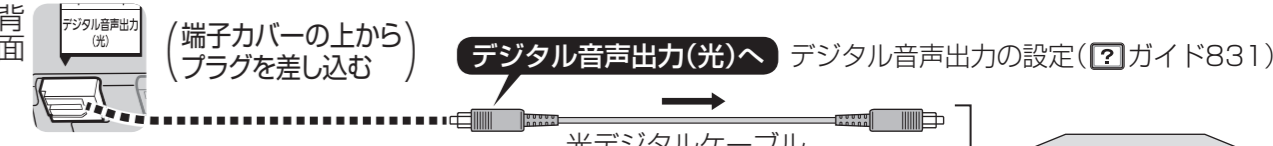
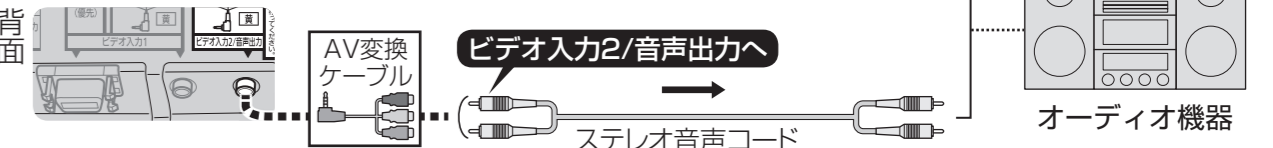
●接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。

■HDMI端子に接続する

接続後の設定

●ビデオ入力2/音声出力に接続時は「ビデオ２音声入出力設定」(?ガイド842)
●リモコンの入力切換ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えるには、「ビデオ入力表示書換」(?ガイド828)
●リモコンの入力切換ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばすには:
外部入力スキップ設定「入力自動スキップ、HDMIスキップ」(?ガイド837)

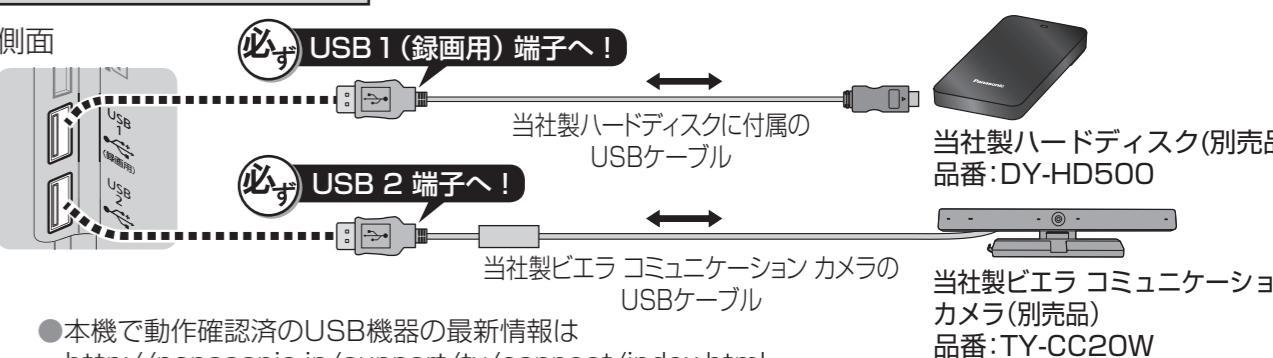
ビエラリンクを使わない機器の接続

6 オーディオ機器の接続

●接続できるオーディオ機器について(☞基本ガイド48ページ)

■光デジタルケーブルで接続する<機器に光デジタル端子があるとき>

■ステレオ音声コードで接続する

USB機器の接続

7 USB機器の接続

●USB端子に関するご注意(☞基本ガイド41ページ)

●本機で動作確認済のUSB機器の最新情報は
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
(2012年1月現在)
●ビエラ ワイヤレスアダプターの接続は 3 をご覧ください。

ケーブル・コード一覧 (別売品)

接続する機器に合わせてご用意ください。

●HDMIケーブル
RP-CDHS30(3 m)など

●HDMIミニケーブル
RP-CDHM30(3 m)など

●D端子映像コード
RP-CVDG15A(1.5 m)など

●D端子-ピン映像コード
RP-CVCDG15(1.5 m)など
接続機器の端子が「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの場合にご使用ください。

●映像/音声コード
RP-CVP3G20(2 m)など

●ステレオ音声コード
RP-CAP3G20(2 m)など

●光デジタルケーブル
RP-CA2010(1 m)など